

平成18年度

自：平成18年4月 1日

至：平成19年3月31日

事業計画書

平成18年3月20日

財団法人 理工学振興会

1. 概要

本会は、「理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、学術および技術開発の進展に寄与する」ことを目的に、

①研究助成：若手研究者及び高校・高専教員を対象とした研究費の助成

②大学技術移転：大学特許の発掘、権利化および普及（所謂TLO）並びに産学連携

③共同研究開発：東京工業大学および民間企業との共同研究

の3事業を行っている。

東京工業大学の国立大学法人化に伴い、②の大学技術移転事業のうち「大学特許の発掘、権利化および普及」は、大学事業となった。本会は、これら大学事業を支援すると共に、業務の一部を大学から受託する等、大学との密接な連携の下、産学連携事業を引き続き推進する。

昨年度と同様、①研究助成部門、②大学技術移転部門、③共同研究開発部門および④事務局の体制とし、その要員計画は、次の通りである。

(内数：派遣・非常勤)

	平成17年度末見込み		平成18年度計画		増減	
	担当役員	担当職	担当役員	担当職	担当役員	担当職
研究助成	(兼)	(兼)	(兼)	(兼)	0	0
大学技術移転	1	14 (14)	1	14 (13)	0	0(-1)
共同研究開発	(兼)	1	(兼)	1	0	0
事務局	1	6 (2)	1	6 (2)	0	0
合計	2	21 (16)	2	21 (15)	0	0(-1)

2. 研究助成部門

研究助成および教育研究助成の2分野で研究費の助成を行う。助成件数は、昨年度並とする。

(1) 研究助成分野

全国理工系大学の大学院生等30歳以下の若手研究者を対象として、優れた研究を行っている者を奨励援助する。

助成件数：30件程度 助成金額：1件につき20万円

(2) 教育研究助成

全国の高等学校および工業高等専門学校教員を対象として、教育現場に置いて優れた教育研究を行っている者を奨励援助する。

助成件数：10件程度 助成金額：1件につき20万円

3. 大学技術移転部門

大学特許の権利化・普及（所謂TLO）および産学連携の推進のために、以下の分野で事業を行う。平成18年度は、出願済特許の権利化・ライセンス並びにTLOセミナーの充実等TLO会員サービスに特に注力する。

また、大学の委託を受けて「大学発明の発掘・評価および権利化」および「産学共同研究のコーディネート」のための人的支援およびライセンス業務を行う。

(1) 特許の権利化および普及

①平成15年度以前に出願した特許を対象に、審査請求を行う。（100件程度）

②出願済特許およびノウハウのライセンス活動を行う。（目標：10件）

③大学の委託を受けて、「大学発明の発掘・評価および権利化」のための人的支援を行う。

（発明の発掘・評価：400件程度、権利化事務：300件程度）

また、大学の特許出願特許情報の提供等を通して企業に特許およびノウハウのライセンス活動を行う。（目標：20件）

(2) 技術相談・技術指導の実施

①企業の抱える技術的課題に大学研究者が応えるために、技術相談（1回限り）および技術指導（一定期間）を推進する。（技術相談：目標60件、技術指導：目標30件）

(3) TLOセミナー等の開催

TLO会員サービスの一環として、TLOセミナー等を開催する。

①先端技術に係る研究成果を紹介する「TLOセミナー」（4回程度）

②産学技術交流会「COEサロン」（ロボット）（10回程度）

③TLO会員交流会（4回程度）

(4) 研究および調査の受託

理工学に関する委託研究および調査を各種機関から受託する。

①関東経済産業局：平成18年度産学連携製造中核人材育成事業

・中小機械加工業における技術革新を先導するスーパーマイスターの育成

②経済産業省およびNEDO委託事業の新規公募に応募する。

(5) 各種団体等との連携

①大田区、横浜市および川崎市等大学キャンパス周辺の技術力ある中小企業と大学との連携を強め「先端技術とものづくり技術」との融合を図るために、技術セミナー・見学会等を実施する。

②発明協会、大田区、横浜市および川崎市等が主催する技術フェアおよびセミナー等に出展し、また講師を派遣する。

4. 共同研究開発部門

(1) NEDO「大学発事業創出実用化研究開発事業(2/3助成)」継続分9件を実施する。

- ①次世代高安定除振台のための重要要素技術(圧力微分計)の開発
- ②高機能光学素子金型用の新しい薄膜金属ガラスの創成と実用化
- ③高耐熱・超薄型GHz電磁ノイズ吸収シートの創製と量産技術の確立
- ④高純度重窒素を安価に製造するハイブリッド化学法の製造技術開発
- ⑤ウエハレベルパッケージ技術による高周波IC用インダクタの開発
- ⑥窒化物蛍光体の製造技術の開発
- ⑦最新合成・評価技術を融合したアルツハイマー病治療薬の開発
- ⑧バッチ生産統合支援システムの開発
- ⑨マイクロ波回路の高密度3次元実装へ向けた新規複合材料の開発

(2) NEDO「大学発事業創出実用化研究開発事業」新規公募に応募する。

以上